

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 3月 28日

公表:令和 7年 4月 21日

事業所名 児童発達支援室きらら

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	3	1	アクティブな活動をする際、狭さを感じる	狭い空間をどう使うかにより、事故やケガが起こらないよう気をつけたいといけない。
	2	4			
	3	3	1	古い建物なのでバリアフリー化はされていない。	なるべく段差がないようにクッションマットで調整はしている。階段等は手すりをつけている。
	4	4			
業務改善	5	4			
	6	4			
	7	4			
	8	1	3	「第三者」がわからない。	法人内ははしていても、外部評価はしていない。
	9	4		研修に行った職員の情報を共有している。	研修の予定が来た時には進んでいけるように調整している。
適切な支援の提供	10	4			
	11	4			
	12	4			
	13	4			
	14	4			
	15	4			
	16	4		児童の特性によっては集団活動に取り組めていない場面もある。	個々の特性に寄り添った関わり方をしながら、少しずつ集団を意識できるようにしていく。
	17	4			
	18	4			
	19	4			
	20	4			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当しない		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当しない		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4				
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1			事業所会議に参加し、研修等を紹介してくれたものへの参加は促している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2			同法人内の保育園との交流する機会を計画していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している			4	わからない	今年度は障害福祉協議会主催の初任者研修の児童発達支援事業所会議の代表となり、5回の会議に出席し、当日はファシリテーターとして参加しました。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4				
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4					
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			連携'にまで発展しているかはわからない。	おしゃべり会を開催はしているが、保護者の繋がりがまでは把握していない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4				
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2		今年は地域の老人会の方とラジオ体操を通して児童が交流する機会があった。	たまたま交流できる場面ではあったが、そこを常の行事とはできない。だがとてもいい交流になっていた。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	職員の対応方法についてもう少し深掘して訓練していきたい。	訓練の内容を再度検討していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	研修を受けた職員から報告してもらい全体に共有した。	虐待研修を年計画に入れていくようにする。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。